本願寺新報
hongwanji journal
12月1日(木曜日)
毎月1日・10日・20日発行
発行所　本願寺新報社
京都市下京区堀川通花屋町下ル　浄土真宗本願寺派（西本願寺）
〒600-8501　本願寺出版社内
電話 075(371)4171(代) ／ FAX075(341)7753

寺院会計・幼稚園会計・保育園会計・税務・相続対策
◆宗派顧問税理士のゆびすいにお任せください◆
ゆびすいグループ
税理士法人ゆびすい
グループ拠点▶堺・大阪・東京・仙台・名古屋・京都・和歌山・岡山・広島・福岡
信頼と安心、そして未来へ… YUBISUI
0120−067−149
文化庁主催『宗教法人実務研修会』の担当講師
http://www.yubisui.co.jp　ゆびすい　公益　検索

トップニュース

自然学んだ児童が大人と共有

広島・妙専寺　SDGsの学習発表会

広島県東広島市の妙専寺（田阪法雄住職）で11月6日、地元・木谷小学校の6年生11人がSDGsの学習発表会を開いた。児童らは環境問題を学ぶため、7月と10月に、同寺と北広島町の研修施設でNPO法人「ひろしま自然学校」が実施する「アースキーパー研修」を受講。発表会は研修のまとめとして開催、児童が保護者や地域の人に自らの学びを語った。

アースキーパー研修は、小学校高学年や中学生を対象に、森や山での自然学習を通して、いのちの循環や生態系の成り立ちなどを体験的に学び、環境に配慮しながら生きられる人材の育成を目指す米国発祥のプログラム（概要は自然学校のホームページ）。娘2人が4年前にこの研修に参加したのを縁に、昨年から自然学校のスタッフを務める同寺の田阪三依坊守（41）が「仏教精神と重なる活動。お寺で行いたい」と自然学校の協力を得て、初めて寺院で研修会を開いた。

児童らは10月の1泊研修を含む3日間、北広島町にある自然学校の施設で学習し、同寺での発表会では自らが〝先生〟となって、寺の裏山で、自分たちが学んできたプログラムを大人たちに紹介していった。

いのちの相互関係を学ぶ「つながり調べ」では（写真上下）、大人たちにエネルギーの源である太陽、光合成を行う植物、草食動物、肉食動物などの役を割り当て、1人1人を糸で結び、土・水・空気などを介してすべてのいのちが複雑に絡み合っている様子をわかりやすく伝え、「強い薬品などを使うと糸は次々と切れていく。ちょっとしたことで生態系は壊れてしまう」などと語った。また、周りの草や木、小動物を観察しながら食物連鎖を考えたり、鳥のさえずりや葉の落ちる音にじっと耳を澄ませて自然を感じるなど、五感を使った学びを提示した。

田阪法雄住職と三依坊守

6年生の中川正宗さんは「地域の皆さんに自然に親しんでもらえてよかった。これからは、ゴミのポイ捨てをしないこと、物を大切にすることを心がけたい」、参加した大人も「鳥の声や風をゆっくりと感じることができた。地球上の全てのものはつながって生きていて、全てに感謝しながら生きていくことが大事だと知った」「事前の学習で子どもたちがしっかり学んで、理解していたことに感動した」などと感想を寄せていた。

宗門校の龍谷大学で環境問題を考えるサークルに所属していた田阪住職夫妻が常に意識するのは「私と自然は一体である」ということ。田阪住職(44)は「生態系やいのちのつながりを知れば、私の生活がいかに他のいのちに迷惑をかけているかを知らされる。私と離れたところに環境問題があるのではない」とし、「環境を考えることは仏教が説く縁起や無我の思想に通じ、私の自己中心性や煩悩に気づかされることになる。環境にいい生き方を心がけることは、念仏者の生き方にも重なってくるのだと思う」と語る。

三依坊守は「今回の学習後、ある親御さんから『子どもに言われて、親子でこまめに電気を消すようになった』と聞いた。アースキーパーになるのがゴールではなく、ここからがスタート。1人1人がどう行動していくかが大切。次は子どもたちと『川のゴミ拾いをしようか』と相談している」と手応えを語った。

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

全国真宗青年の集い 本山大会

4月15日　「いつもすぐそばに」ある仏教見つめる

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念として仏教青年連盟は来年4月15日午後から、「全国真宗青年の集い本山大会」を開催する。現在、参加者の募集を行っている。

テーマは「いつもすぐそばに」。身近な生活の中に「仏教」が溶けこんでいることを伝え、仏教が私たちの「いつもすぐそばに」あることに気づいてもらうことを目指す。

御影堂で営まれる慶讃法要に参拝した後、本山に隣接する宗門校の龍谷大学大宮学舎で大会を開く。選択プログラム制となっており、「注文をまちがえる料理店」などを仕掛ける小国士朗さん、料理研究家の杉本節子さんの各講演、画家の北見美佳さんの講演及びワークショップ、「初めての法話」「ゲームで学ぼうSDGs」「腕輪念珠作り」のプログラムが準備される。夜には、交流会を聞法会館で開き、親睦を深める。

参加費は3000円。募集人数は400人。申し込み締切は来年2月28日。申し込みは各教区教務所。

問い合わせは同連盟事務局☎075（371）5181。※新型コロナウイルス感染症などの影響で大会日程が変更になる場合がある。

御影堂を閉鎖

来年1月18日～3月16日

来年3月29日から5期30日間営まれる本山の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要に向けて、御影堂内に設置する音響・照明機材などを更新する工事を行うため、1月18日から3月16日まで御影堂を閉鎖する。閉鎖期間中は、阿弥陀堂北脇壇に宗祖御影を奉懸する。

本願寺では「工事期間中はご参拝の皆さまにご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力たまわりますようお願い申しあげます」としている。

「若き日の親鸞さま」

北豊・京仲組　慶讃法要で手作り劇

北豊教区京仲組（野田成敏組長）は親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年お待ち受け慶讃法要を11月6日、福岡県みやこ町のホールで営み、記念行事として僧侶、寺族、門徒で演じる劇「若き日の親鸞さま」を上演した。新型コロナ感染対策のため、一般市民への広報は行わず、観客は門徒のみの440人。笑いあり、クライマックスでは会場が一緒に念仏を称えるなど感動の劇となった。

冒頭、野田組長は「練習に練習を重ねた。親鸞さまのご誕生が、私たちにお念仏のご縁を結んでくださった。劇を楽しんでください」と挨拶。劇は「宗祖誕生」から始まり、「出家の決意」では、9歳の聖人の「人々を救うお坊さんになりたい」という決意をせりふに盛り込んだ(写真)。この後、比叡山の修行で勉学に励むほどに煩悩を知らされ、さとりへの苦しい心境に悩む「宗祖の苦悩」を描き、法然聖人との出会いを「吉水入室」で表現。法然聖人が親鸞聖人に「私が人々を救うのではない。そなたも私も阿弥陀さまの救いの目当て」と念仏の道を説くシーンに観劇者は見入った。

最後の「弁円済度」では、親鸞聖人を襲おうとした弁円に、聖人は阿弥陀さまのご本願のいわれを懇切に伝え、最後に「共にすくわれていく仲間です。一緒にお念仏しましょう」の言葉で結ばれ、会場もうなずきながら、一緒に念仏を称えた。

脚本・演出を担当した同組の正山寺・生土昌行住職は「浄土真宗のみ教えを伝える、伝承にとらわれない歴史的な視点、物語(起承転結)としての視点の3要素を基本に、聖人のご誕生を中心にせりふと人物を構成した」と話す。僧侶、寺族、門徒ら35人が出演し、そのほかの人もナレーションや音響、照明を担当。衣装は寺族婦人会が製作した。

観劇したみやこ町・西楽寺門徒の永井飛鳥さん(51)は「親鸞さまのことはよく知らなかったが、劇があると聞いて参拝した。これからは興味を持って法話を聞きたい」と話した。

近日、ユーチューブ「京仲組チャンネル」で公開予定。

長崎教区で慶讃法要

長崎教区・長崎教堂の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要が11月8、9日、長崎県諫早市の長崎教堂で営まれた。教区内10組が2日間に分かれて参拝、芝原文雄主管を導師に「新制 御本典作法」をつとめた(写真)。参拝した僧侶、門信徒、スタッフなど延べ370人が念仏繁盛への思いを新たにした。

法要には各組代表が結衆として出仕し、教区内僧侶有志でつくる自鳴会の会員が奏楽員をつとめた。おつとめに続き、慶讃法要の特命布教講師の深水健司さんが記念法話を行った。

また、新型コロナの影響で法座が減少し、聴聞の機会も少なくなっていることを踏まえ、協賛行事は「法話」。安芸教区の僧侶有志で活動する伝道集団「アサカラザル」の久留島法暁さん（広島市・圓正寺衆徒）、宮武大悟さん（同・西念寺副住職）が漫才法話を行い、笑いとともに、わかりやすく浄土真宗のみ教えを伝えた。

定期休刊のお知らせ　12月10日号（第3467号）は定期休刊です。次回発行は12月20日号です。

私たちのちかい

一、自分の殻に閉じこもることなく
穏やかな顔と優しい言葉を大切にします
微笑み語りかける仏さまのように
一、むさぼり、いかり、おろかさに流されず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
心安らかな仏さまのように
一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
慈悲に満ちみちた仏さまのように
一、生かされていることに気づき
日々に精一杯つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

赤光 白光

すっかりと山々が紅葉している。そこに太陽の光が当たるとさらに美しい。全山燃えるようだという表現があるほどだ。その太陽の光の散乱で赤く美しくなる現象が夕焼けだ。

▼太陽の光の美しさを表現する「燃」と「焼」の2文字。「燃焼」という一つの熟語があるように、2文字の表現は同じ意味のようにも思えるが、微妙な違いがあり、全く重なるわけではない。光の美しさを表現した2つの言葉はそれぞれが必要である。同様に水が器から流れ出ることを指す表現でよく使われる「こぼれる」と「あふれる」もそうである。同じような意味ではあるが、2つには違いがある。そして、どちらの言葉も必要なのである。

▼園児たちがよく歌っている童謡に「チューリップ」がある。「さいた さいた チューリップの花が ならんだ ならんだ あか しろ きいろ」という歌詞は、チューリップの花には変わりはないが、「あか」「しろ」「きいろ」という色の違いが歌われている。同じ花でも違いがあるということを認めて、そして、最後の歌詞となる。「どの花見ても きれいだな」。

▼同じようではあるが、全く重なるわけではないのは私たち人間も同じ。全てが同じようになるのではなく、いろんな違いがあっていいと、互いの違いを認め合うことが大切である。仏さまの目線は「チューリップ」の歌と同じ「どの花見ても きれいだな」である。1人1人がそれぞれに輝いている世界を仏さまは教えてくださっている。

親鸞聖人 御誕生 850 立教開宗 800
ご縁を慶び、お念仏とともに

福岡支局 〒812−0002 福岡市博多区空港前 3-9-16 善教寺内
電話 092(621)5163/FAX092(621)9400
購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
浄土真宗本願寺派 代表電話
宗務所 075(371)5181／大谷本廟 075(531)4171
宗派公式Webサイト　https://www.hongwanji.or.jp
本願寺ホームページ　https://www.hongwanji.kyoto

なぜ？どうして？浄土真宗の教学相談
赤井智顕（京都女子大学・相愛大学講師）
「お念仏は亡くなった人のため？」「『他力』の意味は？」「どうして悪人が救われるの？」など、浄土真宗についての12の質問を通して、そのみ教えやおつとめの意味・特徴を学ぶ。入門書として最適。
B6判・並製・64頁　825円
最新刊
無量寿経を仰ぐ
鹿苑一宇（元本願寺出版部編集長）
経典に流れる〝大悲のおこころ〟を味わう
本願寺の学習誌『季刊せいてん』に連載された《聖典セミナー》を単行本化。浄土真宗根本所依の経典『無量寿経』を読み解き、「南無阿弥陀仏」に込められた阿弥陀如来の願いを仰ぐ。部分意訳を収録。
四六判・並製・228頁　2200円
*価格はすべて税込　*送料・発送手数料：ご注文合計6,600円未満＝一律400円、6,600円以上＝無料
合同会社 自照社　ホームページ：https://jishosha.shop-pro.jp
【大田利生先生 書き下ろしコラム配信中!!】
滋賀県大津市日吉台4-3-7　電話：077-507-8209　FAX：077-507-9926

本願寺 門徒勤行
【読誦】霊岳英雄　CD 2,970円(税込)　カセット 2,200円(税込)　お経文冊子付
正信偈(草譜)念仏 和讃　回向 御文章(信心獲得章)
三奉請 仏説阿弥陀経 短念仏 回向 御文章(白骨章)
DVD 本願寺門徒勤行
DVD 4,180円(税込)
色変わりテロップ機能で、お経の練習にお奨め。お経冊子付
正信偈(草譜) 念仏 和讃 回向
正信偈(行譜) 念仏 和讃 回向
讃仏偈 ／ 重誓偈
梵音　オーケストラによる仏教讃歌　BGMに最適！　CD 2,970円(税込)
四弘誓願　真宗宗歌　法の深山　聖夜
恩徳讃（新）礼讃『無量寿』　礼讃歌
若人の歌　アソカの園　しんらんさま
恩徳讃（旧）朝の歌　みほとけは
み仏にいだかれて　衆会　夕べの歌
行事・式典に活用できる　CD 2,530円(税込)
浄土真宗の讃佛歌　全曲歌声入り
真宗宗歌　敬礼文・三帰依　いまささぐ
さんだんのうた(2種)　宗祖降誕会の歌
恩徳讃(新)　献香偈　親鸞聖人御誕生の歌
報恩講の歌　正信讃　念仏　仏のこども
合掌の歌 たとひ大千世界に 泥洹思慕 衆会　追悼の歌
BONUS TRACKS
真宗宗歌　宗祖降誕会の歌　佛婦行進曲　佛青行進曲
浄土真宗のCD・カセット・DVD
市原栄光堂
FAX 075(371)8685　☎ 075(343)2414

御本山御用達
鍵長法衣佛具店
〒600-8344 京都市下京区油小路通正面東
TEL.075-371-0854 / 075-371-8181
FAX.075-344-2701

好評連載
釈徹宗の随縁探訪
特別企画"学長シリーズ"の第6弾。今号は相愛大学学長の釈さんに、このほど出版された『喜怒哀楽のお経を読む』について話を聞きます。
●お坊さん み跡をめぐる パート2 …… 鷲森別院(和歌山市)
●結婚してお坊さんになりました …… 前田 純代
●和のこころ 親鸞聖人のご和讃 …… 玉木 興慈
●教えて!浄土真宗 …… 藤澤 信照
●門徒推進員ジャーナル
●仏教壮年の声
その他好評連載コーナー多数！
ブディストマガジン 大乗 DAIJO
本日発売！ 12月号
毎月1日発行
B5判／88ページ
年間購読料 4,500円(税・送料込)
1冊 375円(税・送料込)
本願寺出版社
0120-464-583
FAX 075-341-7753
〒600-8501
京都市下京区堀川通花屋町下ル(西本願寺)
https://hongwanji-shuppan.com/